

ものがたりを よみとる

ねらい

●ばめんを おもいうかべながら、ものがたりを よむ ことができる。

名前

組番

月日

正答数

3

もんだい

つぎの 文しやうを よんで、あとの もんだいに こたえましよう。

雨の ふる あさでした。タカシは、コスモスの 花たばを しんぶんしに くるみ、レインコートで おおうように して、学校へ いきました。きょうしつの 手まえで、おなじ くみの アヤコに あいました。

「なに、もってるの。」

かさばった レインコートを みて、アヤコが ききました。タカシは 立ちどまり、レインコートを めくって みせました。

「ぼくが さかせたんだよ。なつ休みの あいだ、まい日 水を やったんだ。」

「きれいいね。先生、きっと よろこぶよ。」

ふたりは、そろって きょうしつへ 入りましたが、とたんに 「あっ！」と 目を みはりました。先生の つくえの 上に、いろとりどりの コス

モスが、花びん いっぱいに いて あったのです。タカシの コスモスより、花が 大きく、かずも 三ばいは ありそうでした。

「すごいだろ。おとうさんが さかせたんだ。」

ジュンが とくいそうに はなしました。タカシは、じぶんの コスモスを あわてて つくえの 下へ おしこみました。

一じかんめの じゅぎやうの あと、タカシは ろうかで 先生に よびとめられました。

「タカシくんも、コスモス もって きて くれたんだって？ 先生、みせて ほしいわ。」

うしろに、アヤコの かおが みえました。

もりやまみやこ・作『おはなしほっちり あき』（小峰書店）「コスモス」

♪よみとりのポイント♪

⑧ だいたい

いつ、どこで、だれが、なにを したのかを おさえましょう。

いつ? 「雨の ふる あさ」

タカシが、コスモスを レインコートで おおうように して、学
校へ いった。

どこで? 「きょうしつの 手まえ」

アヤコが、タカシに 「なに もってるの。」と きいた。

タカシが、レインコートを めくって みせた。

どこで? 「きょうしつ」

タカシと アヤコが、先生の つくえの 上に、いろとりどりの

コスモスが いけて あるのを 見た。

ジュンが 「おとうさんが さかせたんだ。」と はなした。

いつ? 「一じかんめの じゅぎょうの あと」

先生が 「タカシくんも、コスモス もって きて くれたんだっ
て?」と いった。

(1) ^① レインコートを めくって みせたら、なにが ありましたか。つぎの

にあてはまる ことばを、文し^ふょうの 中から ぬきだしましょう。

の 花たば。

(2) ^② いろとりどりの コスモスは、だれが もって きた ものですか。名^なまえを
かきましよう。

「すごいだろ。」と、とくいそうに
いって いる 子^こが いるよ。



(3) ^③ 「タカシくんも、コスモス もって きて くれたんだって?」と 先生が

いったのは、どうしてだと おもいますか。つぎから 一つ えらびましょう。

- 1 ジュンが 先生に おしえたから。
- 2 アヤコが 先生に おしえたから。
- 3 タカシが 先生に いったから。

タカシが コスモスを
もって きた ことを
しって いたのは、
だれかな。



ものがたりを よみとる



- (1) コスモス
(2) ジュン
(3) 2

- (1) 「タカシは、コスモスの花^{はな}たばを しんぶんしに くるみ、レインコートで おおうように して、学^{がっ}校^{こう}へ いきました。」(一く二ぎよう目^め)から わかります。
- (2) ジュンが、「すごいだろ。おとうさんが さかせたんだ。」(十四ぎよう目)と いって いるので、ジュンが もって きた コスモスだと わかります。
- (3) アヤコは、タカシが コスモスをもって きた ことを しって いました。
- タカシの コスモスを見^みて、「きれいな 先生^{せんせい}、きつと よろこぶよ。」(九ぎよう目)と いって いましたね。

ものがたりをよみとる

月

日

年

組

番

名前

正
答
数

5

マ
ー
ク

◎

◎

◎

つぎの 文しようにを よんで、下の もん
だいに こたえましよう。

「さとるは みのるくんじてんしゃの
のりかたを おしえて もらって います。」

「さあ、もう いちど やって ごらん。」
みのるくんが いいました。

「ぼく、もう やめたつと。足を いたく
しちゃったんだもん。」

さとるは かおを しかめました。

「そんな ことじゃ だめだよ。なんども
たおれて、いたく して、それで、のれ
るようになるんだもん。そう しくな
ちゃ、いつまで たっても、うまく な
れないよ。」

さとるは、ためいきを つきながら、ま
た じてんしゃの サドルに こしをお
ろしました。

なんども ころんだり、けがを しくな
ては うまく なれないなんて、じてん
しゃって、まったく へんな のりものです。
こんな のりものなら、かって もらう
んじゃ なかった、と、さとるは おも
いました。

「さあ、ハンドルを かるく にぎって、
おもいつきり ペダルを ふんで ごら
ん。」

みのるくんが、先生みたいに いいまし
た。さとるは ちからを こめて、ペダル
を ふみました。

みのるくんの 手が はなれました。
それでも さとるは、むちゅうで ペダ
ルを ふみました。じてんしゃは ぐんぐ
ん はしりだしました。

(大石真「さとるのじてんしゃ」より)

(1) さとるは かおを しかめましたとあ
りますが、なぜですか。つぎから 一つ
えらびましよう。

1 とても つかれたから。

2 みのるくんが こわいから。

3 足を いたく したから。 へ じ

(2) みのるくんは じてんしゃに のれるに
はどう しなければ ならないと いって
いますか。 に あてはまる ことばを
文しように 中から ぬきだましよう。

なんども

いたく する こと。

(3) じてんしゃを うまく のれない さと
るは、どのように おもいましたか。つぎ
から 一つ えらびましよう。

1 かって もらうんじゃ なかった。

2 ぜったい のれるように なるぞ。

3 なぜ みんな のれるんだらう。

へ じ

(4) みのるくんが さとるに おしえる よ
うすを たとえた ことばを、文しように
中から 五字で ぬきだましよう。

(5) さとるが じてんしゃの れんしゅうを
している ときの ようすを あらわす
ことばを 文しように 中から 四字で
ぬきだましよう。

ものがたりをよみとる

- (1)3
- (2)たおれて
- (3)1
- (4)先生せんせいみたい
- (5)むちゆう